

## 令和元年度 上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	<b>第 1 回 就 業 支 援 部 会</b>	参加者数	34 人	会場	伊那市福祉まちづくりセンター 2階大会議室
	日時	令和 元 年 7 月 12 日 ( 金 ) 13:30 ~ 15:30				
主 題 マ	<p>1 伊那養護学校在校生における就労アセスメント圏域ルールの見返しについて</p> <p>2 令和元年度上伊那圏域自立支援協議会組織体制について</p> <p>3 長野県就労支援部会報告、OJT推進委員派遣事業について</p>					
主 な 意 見 な ど	<p>1)について(部会長 伊那養護学校福澤先生)</p> <p>伊那養では毎年就労アセスメントを利用するであろう生徒が増えている。B型事業所を利用希望の生徒は13名、多くの生徒が就労アセスメントを利用し進路を決めている。その中で、伊那養護学校在校生における就労アセスメント圏域ルールの見返しについて当部会で考えていきたい。</p> <p>(1)課題について</p> <p>【課題①】 同じ時期(8月頃)に就労アセスメントが重なってしまっていること。現在時期を早めることを検討している。3年時にやっているアセスメントを1年ほど早め、時間を十分にとって就労に向けた準備を行っていききたい。また今まで通り市町村からの支給決定を行い、早い時期に相談支援専門員をつけることで、生活リズム等を整えるというような相談ができるシステムを早段階でつくることできる。</p> <p>【課題②】現在B型を利用するためのアセスメントになっているので、就労を目指している生徒には不向きのアセスメントになっていること。そのため、就労のための資料として活かすことができない。この件に関しては、支給決定を伴わない「準アセスメント」を検討している。</p> <p>(2)「準アセスメント」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般就労に進みたい生徒を対象に特別実習の形でアセスメントを行う</li> <li>・就労移行支援事業所でアセスメントを行い、期間は一週間</li> <li>・高等部1、2年の希望者を対象にする(将来的には高等部1年全員)</li> </ul> <p>準アセスメントのメリットは、早めに生徒の強みや課題を見つけることができ、就労に向けた道筋を示すことができる。また、実習の目的をより明確にすることができる。</p> <p>(3)「準アセスメント」の検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給決定なしにやっていただくことが上伊那で可能なのか</li> <li>・就労移行支援事業所の協力を得られるのか</li> </ul> <p>「準アセスメント」は昨年度から当部会で検討してきたが、いよいよ今年度から本格的に検討していきたい。上伊那で評価の基準をそろえるためにも検討会をつくり、進めていきたい。</p> <p>ワーキンググループのメンバーは事務局で選出し、お願いしていく。市町村代表、就労支援移行事業所4か所から一人ずつ、相談支援専門員代表、伊那養護学校福澤先生で構成予定。</p> <p>2)について(きらりあ藤原専門幹)</p> <p>自立支援協議会は課題解決の場ということをご理解いただきたい。全体会については特に大きな変化はない。運営委員会は8市町村障がい福祉係長、伊那保健福祉事務所福祉担当係、専門部会部会長、きらりあ事務局で構成されている。この中で検討が必要な課題についてはワーキンググループに検討をお願いし、その後検討された項目について必要なものは各部会に課題を提供する。ワーキンググループは各部会でメンバーを選出し、検討していく。就業部会の課題についても、再度運営委員会でもんで再度部会に依頼をしていく。就労支援部会は昨年と変更なく進めていく。他部会は名前や内容等変更有り。 ※資料2参照</p> <p>3)長野県就労支援部会について</p> <p>県内の就労アセスメントに関する情報収集、検討と長野県内の圏域部会活動の活性化については今年度丁寧に活動していく。</p> <p>就労アセスメントについては圏域ごと全く違う。圏域ごとの動きを把握していく予定。長野県内の部会活性化については、参加者の減少等あるので、圏域外の部会に事務局が外向いて課題を把握していく。</p> <p>平成30年度短期トレーニング促進事業はのべ596件、OJT推進員派遣事業は13件だった。上伊那圏域でも70数件、OJTは8件だった。OJTに関しては今までは各圏域からOJT推進員を選出していたが、今年度からは試行的に、OJTに取り組みたい事業所を募集し、長野県で2か所依頼する予定であったが、手を挙げていただいたのが株式会社暖。県内で1か所だけ。</p> <p>今までは短期トレーニングをする際にOJTが必要な方に対してOJT推進員の派遣をお願いする形だったが、今年度からは予算もついたので、OJT推進員自ら仕事を売り込まないといけない。</p> <p>【OJTについて】(株式会社暖 田平潤氏)</p> <p>就職をするにあたって企業と障がい者との橋渡しの役割。障害の周知やどんな仕事をしてもらうのがいいのかを会社に提案し、働くための提案をする。基本的には短トレとセットできらりあと連携していく。範囲は上伊那と下伊那。基本的には田平さんが行うが、手が回らないときは暖のスタッフが行う場合もある。</p>					
まとめ	<p>・今後部会とは別枠で準アセスメントの検討委員会を立ち上げ、検討を進めていく。</p>					
次回	<p>次回部会 9月13日(金)13:30～</p>					